

英語で楽しむ物語 ～O・ヘンリー短編集を読む～

英語を楽しく味わう短期講座がこの夏開講！
O・ヘンリーの物語を通して英語圏の暮らしや文化を
学びます。試験勉強とはひと味違う、英語の魅力を感じ
てみませんか？

英語が苦手な方・受験生・
もっと英語を勉強したい
方にオススメです！

『O・ヘンリー短編集（英語版）THE
GIFT OF THE MAGI and other stories』
O・ヘンリー／著 講談社英語文庫
※テキストは図書館が用意します。



▶と き（全3回）

7月29日（土）、8月19日（土）、9月16日（土）
いずれも午後1時30分～3時

▶講師

酒井 康宏さん（米子工業高等専門学校名誉教授）

▶定員 20人

▶申込方法 電話・FAX・窓口・Eメール

▶参加資格 中学生～20代の方



米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館（☎22-2612 FAX22-2637）

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 毎週月曜日、30日、31日（月末資料整理）

高校生のためのビジネスプラン作成講座

あなたのビジネスア
イディアを形にして
みませんか？ビジネ
スプランを楽しく一
から作成できる講座



です。たくさんの方のご参加お待ちしております。

▶と き 8月2日（水）午前10時～午後4時

▶対象

鳥取県内の高校生・高専生（1～3年）からなるグ
ループまたは個人

▶参加費 無料

※くわしくは米子市立図書館ホームページか館内設置
のチラシをご覧ください。

♥児童図書

図書館からの冒険



岡田淳／著 偕成社

通っていた小学校が廃校になる
前に、こっそり忍び込んだ学校
図書館。そこは危機に瀕したも
う一つの世界の入口だった！ス
リルと謎いっぱい冒険物語。

◆一般図書

叡智の図書館と十の謎



多崎礼／著 中央公論新社

砂漠の果てにある叡智の図書
館。鎖で縛られた扉を開けるた
め、旅人は十の謎に挑む。ペー
ジをめくると面白さが加速
する、現代版SFおとぎ話。

今月のおすすめ図書

今月の催し（☆印は要事前予約）

「おはなし会」

▽木曜おはなし会（ほしのぎんか・火曜
の会、図書館職員）（☆）

毎週木曜日 午前10時40分

▽おはなしかご（米子おはなしかご）

（☆）15日（土）午前10時30分

▽夕方おはなし会（図書館職員）（☆）

11日（火）午後4時

「各種講座」

▽つつじ読書会『漱石の白百合、三島
の松』塚谷裕一著（中央公論新社）

（初めての方☆）1日（土）午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会（初めての方☆）

2日（日）午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室（☆）

11日（火）午後3時、12日（水）午前10

時30分（1日（土）予約受付開始）

※8月の予約は8月1日（火）受付開始

▽鳥取大学サイエンスアカデミー

8日（土）、22日（土）午前10時30分

▽古文書研究会「多比能實知久佐」ほか

22日（土）午後1時30分

▽伯耆文化研究会「インターネットを

活用した地域研究」来見田博基さん、

根平雄一郎さん

8日（土）午後1時30分

「2階ギャラリー」

▽高校生ビジネスプラン作成講座 関連

展示

1日（土）～29日（土）



米子水鳥公園の指導員（レンジャー）が
日々の活動をご紹介します！

米子水鳥公園 レンジャー通信

文・写真／米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

樹上にとまっていた
リュウキュウムラサキ



羽の表の模様



2022年7月20日の午後2時ごろ、園路を歩いていると、見慣れないチョウが飛んでいるのが目に留まりました。その時、黒い羽に大きな白っぽい点が4個見えて、すぐにリュウキュウムラサキのオスと分かりました。2019年9月と2021年9月に、琴浦町で多数採集された事例があったことが記憶に新しくなりました。

リュウキュウムラサキは、名前のとおり南国のチョウで、日本では八重山諸島にだけ定着しています。本来生息している地域は、マダガスカルから東南ア

南国のチョウがやってきた！

アジア、オーストラリア、フランス領ポリネシアにかけての熱帯地方と考えられていて、台風などの強い風に乗って日本にやってくるようです。

幼虫はサツマイモなどの身近なヒルガオ科の葉を食べるので、今後気候が温暖になれば、生息地が北に広がって九州などにも定着し、山陰地方でも見られる機会が増えてくる可能性があります。

皆さんも、普段のお散歩コースで見かける生き物に注目すると、このような珍しい出会いがあるかもしれません。

美術館通信

特別企画展

「井田幸昌展 Panta Rhei | パンタ・レイー世界が存在する限り」

井田幸昌は、彫刻家である父のアトリエで幼い頃から絵を身近に親しんできました。「一期一会」をテーマとし、絵画を中心に彫刻や版画などさまざまに展開しています。国内を拠点に海外にも活躍の場を広げ、各国のコレクターたちから注目を集めています。その芸術文化活動は広く文化の振興に功績があったとして2022年鳥取県文化奨励賞を受賞しました。

本展は、井田にとって初めてとなる国内美術館での個展です。国内未発表作を含むこれまでの絵画作品や立体作品に加えて、井田が絵日記のように日々つづる“End of today”シリーズ、そして最新の作品までを一同に展示します。

- 会期 7月22日(土)～8月27日(日) [水曜日休館]
- 観覧料 一般 1,300 (1,000) 円、高校・大学生 900 (800) 円、中学生以下無料 ※ () 内は前売料金
- 📍 米子市美術館 (☎ 34-2424、FAX 33-0679)



Yukimasa Ida, Self Portrait, 2022,
Oil on canvas, 194.0 × 162.0 cm